

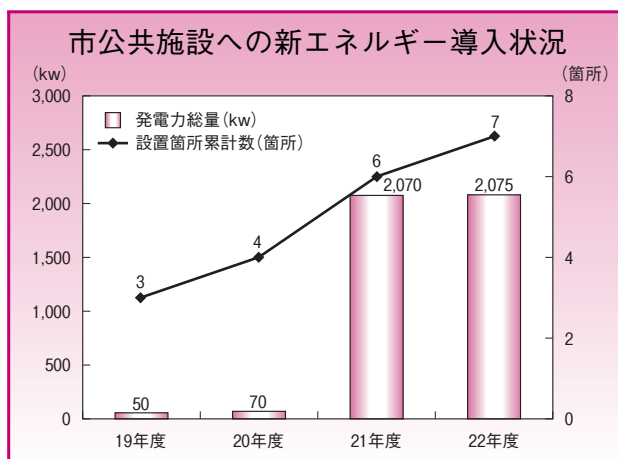
## 基本施策 1-② 地球環境の保全

### 現状

近年、喫緊の課題となっている地球温暖化\*は、世界各地で環境の異変や生態系への影響等を及ぼしており、深刻な問題となっています。

また、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、従来のエネルギー政策の抜本的な転換の必要性が議論されています。

このため、化石エネルギーの依存から脱却し低炭素社会\*を構築していくため、地球温暖化対策を推進する必要があります。



### 課題

地球温暖化対策の推進

自然エネルギー\*の再生利用

エネルギーの消費抑制

### 目指すべき方向

(1)低炭素社会の実現

(2)再生可能エネルギーの推進

(3)省エネルギーの推進

### 基本施策 目標指標

市民満足度

基準値 (平成22年度)

56点



目標値 (平成28年度)

61点

※市民満足度は、「満足している」100点、「やや満足している」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である」25点、「不満である」0点とした時の全回答者の平均得点

\*地球温暖化：温室効果ガスによって引き起こされる、地球表面の大気や海洋の温度が上昇する現象のこと。

\*低炭素社会：地球温暖化を防ぐため、クリーンエネルギーの活用等により、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスを極力排出しない経済社会のこと。

\*自然エネルギー：現在使用されている石炭や原子力、天然ガスなどのエネルギーに対し、太陽や風力、海洋、バイオマス、地熱など自然現象から得られるエネルギーをいう。

\*温室効果ガス：大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部吸収することにより温室効果をもたらす気体の総称。水蒸気や二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素などがある。

\*賦存量：ある資源について、理論的に導き出された総量。

## 具体的な施策

### (1)-1 地球温暖化対策の推進

本市の自然的社会的条件に応じた温室効果ガスの排出抑制を図るため、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、市民、事業者、行政が協働で計画に掲げる施策を推進します。

**主要事業** (新) 地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編) 策定事業  
(平成24年度)

**目標値** 地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編)

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



### (2)-1 再生可能エネルギーの利用の推進

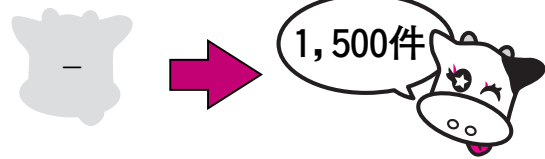
温室効果ガス\*排出抑制施策の一つとして、市域の再生可能エネルギーの賦存量\*調査の結果を踏まえて、太陽光、小水力、温泉熱、バイオマス等の積極的な利活用について検討し、導入を推進します。

**主要事業** (新) 再生可能エネルギー  
推進事業

**目標値** 太陽光発電システム設置  
補助件数

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



### (3)-1 省エネルギー施策の推進

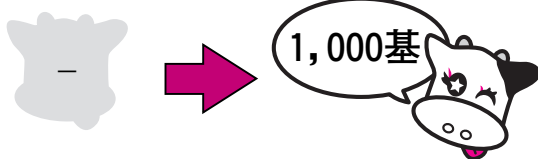
温室効果ガスの排出抑制施策の一つとして、公共施設の照明器具や市内の防犯灯のLED化をはじめ、省エネルギーに関する施策を推進します。

**主要事業** 防犯灯設置及び管理助成事業

**目標値** LED防犯灯設置助成数

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



自然と共生する  
まちづくり

快適で潤いのある  
まちづくり

健やかに安心して暮らせる  
まちづくり

安全で便利な  
まちづくり

活力を創出する  
まちづくり

豊かな心と文化を育む  
まちづくり

創意と協働による  
まちづくり